

オルダムカップリング取扱説明書

この度は、オルダムカップリングをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。まず、ご注文の商品と間違いがないか、部品が全て揃っているかをご確認ください。

万一商品が違っていたり、部品が足りない場合は、お買い上げ頂いた販売店までお申し出ください。

なお、この取扱説明書が最終のお客様まで届くようご配慮ください。

安全上のご注意

製品のご使用に際しては、この取扱説明書を良くお読み頂くと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをして頂くようお願いいたします。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区別してあります。

△ 警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
△ 注 意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合

なお**△注意**に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。また品質管理には万全を期していますが、万一の事故に備え、安全対策には十分ご配慮ください。

なお、この取扱説明書は必要な時に取り出して読めるよう大切に保管すると共に必ず最終需要家までお届け頂くようお願い申し上げます。

△ 警 告

〔全般〕

- ・安全カバーを必ず設置してください。
- ・回転体であるため、製品に手や指が触れるとけがの原因となります。危険防止のため身体が触れないように、必ず安全カバーを設置してください。
- ・また、カバーを開けた時には回転体が急停止するように安全機構などを設けてください。
- ・運搬、設置、運転・操作、保守・点検の作業は、専門知識と技能を持った人が実施してください。けが、装置破損の恐れがあります。
- ・人員輸送用装置に使用される場合には、装置側に安全のための安全装置を設けてください。暴走落下による人身事故や、装置破損の恐れがあります。
- ・昇降装置に使用される場合には装置側に落下防止のための安全装置を設けてください。昇降体落下による人身事故や、装置破損の恐れがあります。

〔運搬〕

- ・運搬のために吊り上げた際に、製品の下方へ立ち入ることは絶対にしないでください。落下による人身事故の恐れがあります。

〔据付〕

- ・カップリングの取付け、取外しの際には作業に適した服装、適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴等）を着用してください。
- ・事前に必ず電源を切り、また不意にスイッチが入らないようにしてください。
- ・ボルト類の締め付け、緩み止めは完全に行ってください。
- ・ボルトの締め付け具合によっては破損するなど非常に危険な状態になります。必ず確実に締め付けてください。

〔運転〕

- ・運転中、回転体（カップリング、シャフト等）へは絶対に接近または接触しないでください。巻き込まれ、人身事故の恐れがあります。

〔保守・点検〕

- ・運転中の保守・点検においては、回転体（カップリング・シャフト等）へは絶対に接近または接触しないでください。巻き込まれ、人身事故の恐れがあります。
- ・停止時に点検する場合には事前に必ず元電源を切り、また不意にスイッチが入らないように注意してください。また、駆動機・被駆動機の回転止めを確実に行ってください。

△ 注 意

〔全般〕

- ・製品仕様以外の仕様で使用しないでください。けが、装置破損の恐れがあります。
- ・損傷したカップリングは使用しないでください。けが、装置破損の恐れがあります。
- ・製品に貼り付けられている銘板を取り外さないでください。

〔荷受け時の開梱〕

- ・木枠梱包の場合はクギに注意して開梱してください。けがの恐れがあります。

〔追加工〕

- ・オルダムカップリングは軸穴加工、キー溝加工、止めねじ用タップ穴加工以外の追加工や改造はしないでください。製品の品質、機能の低下をもたらす破損の原因となっており、機械に損傷を与えたり機械操作者のけがの恐れがあります。
- ・追加工する場合は、専門家により、取扱説明書の作業手順、注意事項に従って行ってください。

〔運搬〕

- ・運搬時は落下、転倒すると危険ですので十分ご注意ください。
- ・製品の質量が大きい場合は手で持つと腰などを痛めることがありますのでアイボルトを利用してホストなどを使ってください。但し据付後はアイボルトを取り外してください。
- ・運搬のために製品を吊り上げる際は、製品の質量を確認し吊り具の定格荷重以下で使用してください。吊り具の破損、落下、けが、装置損傷の恐れがあります。

〔据付〕

- ・カップリングの内径部、及び各部品の角部は素手で触らないでください。けがの恐れがあります。
- ・カップリングを取り付ける駆動軸と被駆動軸の心出しは取扱説明書の心出し推奨値以内に必ず調整してください。

〔運転〕

- ・運転中に手や身体が触れないように注意してください。けがの恐れがあります。
- ・異常が発生した場合は直ちに運転を停止してください。装置損傷の恐れがあります。

〔保守・点検〕

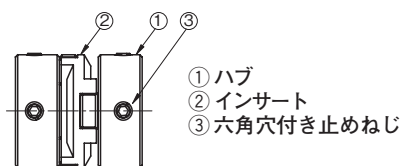
- ・作業に適した服装、適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴等）を着用してください。
- ・二次災害を引き起こさないように、周辺を整理し安全な状態で行ってください。
- ・労働安全衛生規則第二編第一章第一節一般基準を遵守してください。
- ・製品の取付け状態（心出し等）が取扱説明書の推奨状態を維持しているか定期的に確認してください。

〔環境〕

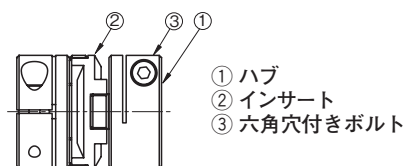
- ・本品を破棄する場合は、環境への負担を考慮し、専門業者に処分を依頼してください。

1. 構造

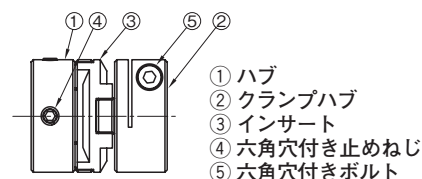
■ 止めねじ × 止めねじタイプ



■ クランプ × クランプタイプ



■ 止めねじ × クランプタイプ



2. 心出し

カップリングを取り付ける両軸のミスアライメントが表1の各サイズの許容値内になるよう心出しを行ってください。
なお、ミスアライメント量が大いいとインサートの摩耗が促進され、バックラッシュの発生が早まります。ノンバックラッシュで長時間使用される場合は平行偏心量を表1の推奨値内に調整されることをお勧めします。

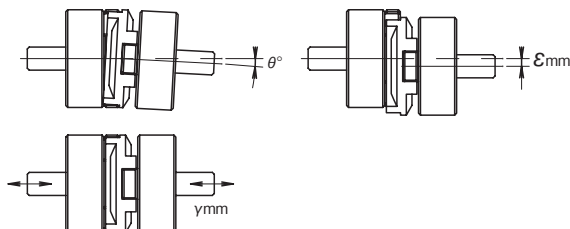


表1 ■許容ミスアライメント

形番	角度誤差 (θ°)	平行偏心 (ε mm)		軸方向変位 (γ mm)
	許容値	許容値	推奨値	許容値
EJC13	0.5	1.3	0.1	±0.05
EJC19	0.5	1.9	0.2	±0.1
EJC25	0.5	2.5	0.2	±0.1
EJC33	0.5	3.3	0.2	±0.15
EJC41	0.5	4.1	0.25	±0.15
EJC51	0.5	5.1	0.25	±0.2
EJC57	0.5	5.7	0.25	±0.2

3. 取付け

- ① 止めねじ又はクランプボルトを表2の締付けトルクで締め付け、ハブを軸に固定してください。
- ② ハブの爪部先端とインサート溝底部のスキマを許容軸方向変位量分 (A) とってください。
(右図参照)

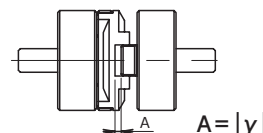


表2 ■止めねじ、クランプ締付けトルクと在庫軸穴径

			締付けトルク		在庫軸穴径													
形番	固定法	サイズ	N・m	[kg・cm]	3	4	5	6	6.35	8	9.525	10	12	14	16	20	25	30
EJC13	止めねじ	M3	0.92	9.2	○	○	○	○	○									
EJC19	止めねじ	M3	0.92	9.2		○	○	○	○	○								
EJC19	クランプ	M2.5	1.21	12.3		○	○	○	○	○								
EJC25	止めねじ	M4	2.2	22.4				○	○	○	○	○	○					
EJC25	クランプ	M3	2.1	21.4				○	○	○	○	○	○					
EJC33	止めねじ	M4	2.2	22.4						○	○	○	○	○	○			
EJC33	クランプ	M3	2.1	21.4						○	○	○	○	○	○			
EJC41	止めねじ	M5	4.0	40.8							○	○	○	○	○	○		
EJC41	クランプ	M4	4.6	46.9							○	○	○	○	○	○		
EJC51	クランプ	M5	9.5	96.9									○	○	○	○	○	
EJC51	クランプ	M6	16.0	163										○	○	○	○	○

注) ハブを軸に固定する場合は、トルクレンチ等を用いて表2の締付けトルクで締め付けてください。

保証

1. 無償保証期間

工場出荷後18ヶ月間または使用開始後(お客様の装置への当社製品の組込み完了時から起算します)12ヶ月間のいずれか短い方をもって、当社の無償による保証期間と致します。

2. 保証範囲

無償保証期間中に、お客様側に取扱説明書に準拠する正しい据付・使用方法・保守管理が行われていた場合において、当社製品に生じた故障は、当社製品を当社に返却頂くことにより、その故障部分の交換または修理を無償で行います。

但し、無償保証の対象は、あくまでお客様にお納めした当社製品単体についてのみであり、以下の費用は保証範囲外とさせていただきます。

- (1) お客様の装置から当社製品を交換又は修理のために、取り外ししたり取り付けたりするために要する費用及びこれらに付帯する工事費用。
- (2) お客様の装置をお客様の修理工場などへ輸送するために要する費用。
- (3) 故障や修理に伴うお客様の逸失利益ならびにその他の拡大損害額。

3. 有償保証

無償保証期間にもかかわらず、以下の項目が原因で当社製品に故障が発生した場合は、有償にて調査・修理を承ります。

- (1) お客様が、取扱説明書通りに当社製品を正しく据付けられなかった場合。
- (2) お客様の保守管理が不十分であり、正しい取扱いが行われていない場合。
- (3) 当社製品と他の装置との連結に不具合があり故障した場合。
- (4) お客様側で改造を加えるなど、当社製品の構造を変更された場合。
- (5) 当社または当社指定工場以外で修理された場合。
- (6) 取扱説明書による正しい運転環境以外で当社製品をご使用になった場合。
- (7) 災害などの不可抗力や第三者の不法行為によって故障した場合。
- (8) お客様の装置の不具合が原因で、当社製品に二次的に故障が発生した場合。
- (9) お客様から支給を受けて組み込んだ部品や、お客様のご指定により使用した部品などが原因で故障した場合。
- (10) お客様側での配線不具合やパラメータの設定間違いにより故障した場合。
- (11) 使用条件によって正常な製品寿命に達した場合。
- (12) その他当社の責任以外で損害が発生した場合。

4. 当社技術者の派遣

当社製品の調査、調整、試運転時等の技術者派遣などのサービス費用は別途申し受けます。